



Homepage

はしもと

令和8年度青少年部員研修会

実施日 6月6日(土) 午前9時30分～12時00分

会 場 橋本南地区コース

内 容 歴史散歩(リニア新駅工事→棒杭→石碑→相原高校クスノキ2世→供養塚)

講 師 橋本の歴史を知る会(阿部氏)

参 加 青少年部員5名・事務局1名

「昔から現在までの橋本の歴史をあらためて感じた研修会でした。」



橋本のまちを見守ってきたクスノキ、 「2世」がコトエ橋本で新しいシンボルに

2026年5月撮影

このクスノキは、橋本駅南口でひときわ大きく育ち、まちを見守ってきた「相原高校百年のクスノキ」の枝を挿し木繁殖した「2世」です。

1923年、農業学校として開設した神奈川県立相原高等学校。

戦後復興の一環として相原地区に樹木を植え、クスノキを育てました。

高さ15m以上、枝葉が20m以上に伸び、地味なランタナをともなっていました。

2019年、リニア中央新幹線建設に伴う用地収束のため、相原高校の歴史、

多くの人に知らしめられた「百年のクスノキ」は、

国史跡指定や地域の歴史を伝えるシンボルとして大切に育てられました。

しかし、相原高校建設地の生活は、

その歴史を継承するため、2016年から相原高校に依頼、

そして2025年5月、「百年のクスノキ」の枝を挿し木繁殖して

「2世」の1株が、コトエ橋本に移植されました。

高さ70cm、枝葉が1mの小さな苗木は、

これから新たなシンボルとして、

このまちを大切に育っていきます。

